

本時の視点

紙のもつ魅力や特性を理解し、イメージしたものを表現に活かすための指導の工夫

1 題材名 紙の造形 「四季のイメージをふくらませカレンダーに表現しよう」

2 題材の目標

- 身近な材料である紙に目を向け、その特性などを主体的に生かし表現しようとする。 (美術への関心・意欲・態度)
- 紙の特性を生かしながら、四季のイメージを広げることができる。 (発想や構想の能力)
- 様々な紙と補助材料を工夫して使い、四季のイメージを表現することができる。 (創造的な技能)
- 四季の自然を感じ取るとともに友人の作品のよさや工夫点を鑑賞することができる。 (鑑賞の能力)

3 題材について

本題材は、日本の四季の美しさを感じ取り、それを身近な材料を使って表現するものである。普段の生活でも切り離せない身近な素材である紙を使い、美しい日本の四季を作品に表現することで、季節感を味わいながら、紙のもつよさを再発見したり、可能性を見いだしたりする題材である。

本校の生徒は、自然豊かな、四季折々の色彩に囲まれた環境の中で生活をしている。本学級の生徒は、室内ゲームが好きな生徒もいるが、釣りをしたり、公民館などに集まりスポーツを楽しんだりする生徒も多く、自然の中での遊びが好きである。授業でも、アイデアを考えるより、体全体を使った作業を伴う活動に熱心に取り組んでいる。

新中学校学習指導要領では、各教科の言語活動の充実が重点化され、美術科における言語活動は、感じ取ったことを造形や言葉で表現することととらえることができる。そこで、言語活動の充実の視点から、四季のイメージをふくらませることができるよう、イメージを言葉で表し、話し合う時間を確保することで、今まで気付かなかった季節感を感じ取ることができるようにする。本題材では、導入に季節を感じさせる「色」、「形、イメージ」、「風物詩」を言葉で表し、十分に話し合う時間を設定する。普段、アイデアスケッチや構想を練る時間を有効に使えない生徒も、次の制作活動へとつなげることができると思う。話し合いから気付いたり考えたりした言葉をヒントにイメージをふくらませ、表現活動の充実を図りたい。

4 指導計画 (10時間扱い) ○は本時

次	時	主な学習内容	評価の観点				評価規準 (方法)
			関	発	技	鑑	
1	1	春夏秋冬それぞれの季節を感じさせる「色」、「形・イメージ」、「風物詩」を言葉で表現しよう。	◎			○	◎感じ取ったことや考えたことを言葉で表現することに関心を持ち、話し合おうとしている。(観察、発表)
2	2	四季のイメージをふくらませ、アイデアスケッチをしよう。		◎	○		◎紙で制作することを考えながら、四季のイメージを広げている。(クロッキー帳)
3	6 本時 ①	紙のもつ特性を生かし、四季のイメージを表現しよう。	○	○	◎		◎「切る」、「ちぎる」、「折る」、「丸める」、「貼る」など、紙のもつ特性を生かし、四季のイメージを表現している。(観察、作品)
4	1	友人の作品を鑑賞しよう。	○			◎	◎友人の作品を鑑賞し、よさや工夫点を見付け、ワークシートに書いている。(観察、ワークシート)

5 本時の指導

(1) 目標

紙のもつ魅力や特性を理解し、四季のイメージを表現することができる。

(2) 準備・資料

参考作品、カレンダー台紙、紙 (和紙、折り紙等)、工作用セメダイン、樹脂接着剤、はさみ、カッターナイフ、カッターマット、鑑賞資料、実物投影機

(3) 展開

段階	学習活動・内容	指導の手立て、○本時の視点との関連、㊦評価
つかむ (3分)	1 本時の学習内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">紙の特性を生かし、四季のイメージを表現しよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導の手立て、○本時の視点との関連、㊦評価 ・前時の学習内容の「四季のイメージをふくらませ、アイデアスケッチをしよう」が終わっていない生徒は、本時の学習内容を踏まえた上で活動に取り組めるよう助言する。 ・第1次で行った「四季のイメージをふくらませるヒントとなる言葉」を黒板に掲示し、四季のイメージを広げることができるようにする。 ・参考作品や資料を提示することで、紙の特性を生かした表現に生かすことができるようにする。 ○実物投影機を使用し、はさみで切った和紙と手でちぎった和紙を示し、用具や方法の違いによる多様な表現や雰囲気気付くことができるようにする。 ○台紙に貼る際に、全面をのりで接着せず立体的に表す等、多様な方法を資料から気付かせたい。 ・材料スペースを設置し、自分のイメージに合った紙や材料を選べるようにする。 ・アイデアスケッチを基に紙や材料を選び、紙の特性を考えながらイメージをもつことができるようにする。 ・紙等は必要な分だけ使用し、残りは材料スペースに戻すよう指示する。 ㊦紙のもつ魅力や特性を理解し、四季のイメージを表現している。 【創造的な技能】(観察, 作品, クロッキー帳) ・活動がなかなか進まない生徒には、資料「ウォッチ」や板書してある言葉を参考にしながら、四季のイメージを具体化することができるよう助言する。
さぐる (7分)	2 紙の特性について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・切る ・ちぎる ・折る ・丸める ・貼る ・着色する 等 	
さぐる 深める (30分)	3 四季のイメージを様々な紙を使って表現する。 <ul style="list-style-type: none"> ・カレンダーの表裏にレイアウトの異なった暦が印刷されているので、どちらを利用するかを決める。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;"> <p>A</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80px; height: 100px; margin: 0 auto;">制作スペース</div> <hr style="width: 80%; margin: 5px auto;"/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80px; height: 40px; margin: 0 auto;">暦</div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>B</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80px; height: 100px; margin: 0 auto;">制作スペース</div> <hr style="width: 80%; margin: 5px auto;"/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80px; height: 40px; margin: 0 auto;">暦</div> </div> </div>	
振り返る (10分)	4 本時のまとめをし、後片付けをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・つくりかけのパーツは、各自の袋に保管させ、次回の学習で活用する意識をもたせる。

(4) 板書計画

紙の造形

四季のイメージをふくらませカレンダーに表現しよう

紙の特性を生かし、四季のイメージを表現しよう

季節のイメージをふくらませるヒントになる言葉

色	形・イメージ	風物詩

紙の特性

- ・切る
- ・ちぎる
- ・折る
- ・丸める
- ・貼る
- ・着色する

参考作品

参考作品・資料